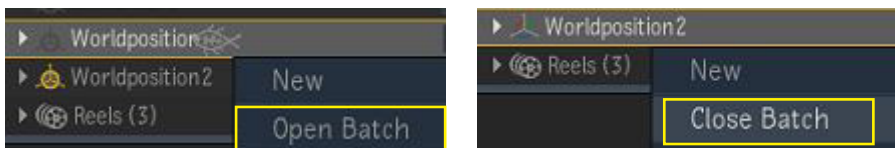


## 安定した運用のために②

Autodesk Flame Family を使っていく中で、できるだけトラブルの少なく運用するための TIPS をご紹介します。

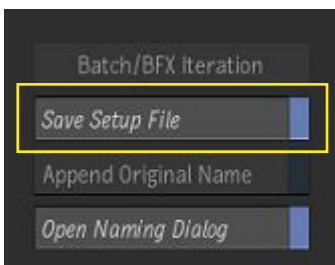
### Close Batch を使用する (v2016 以降)

Flame2016 から Timeline、Desktop Reels、Batch の制作環境を統合した新しい Batch Group が導入されました。Batch Group を使用することで Batch Schematic 内で使用するクリップのマネジメントを柔軟に行うことができます。それに伴い大量の Batch Group を開いている場合、メモリを無駄に使用しているかもしれません。作業していない Batch Group を選択しサブメニューより Close Batch を選択することでメモリの節約ができます。ダブルクリック、もしくはサブメニューより Open Batch を選択することで Batch Group を Open することができます。



### Iteration のバックアップを有効にする (v2016 以降)

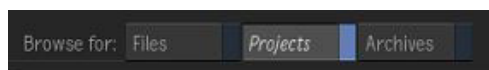
Iteration は Batch 環境をダイナミックにスナップショットし、進行中の作業のすべての素材と一緒に、新しいバージョンやステージを保存・共有できます。Iteration を保存すると、使用している Batch Group の Iteration フォルダに Batch Setup と素材が保存されます。Iteration のバックアップを有効にしておくと Iteration 作成時に自動的に、/opt/Autodesk/project/ プロジェクト名 /batch/flame/iterations のフォルダに、従来のテキストセットアップも同時に保存されます。Iteration が破損した場合や、誤って削除してしまったときなどに有効です。設定は Preferences > TL FX/Batch/BFX タブの Batch/BFX Iteration から Save Setup File を有効にします。Setup 名は Iteration を実行した際の Iteration Name で保存されています。



### Library メタデータ破損時の対応について

アプリケーションの異常終了など予期せぬ現象が起こった場合に、最悪 Library のメタデータが破損してしまうことがあります。(安定した運用のために①参照) 弊社サポート時間外の場合は以下の手順で運用を続けることができます。

1. 新しくプロジェクトを作成します。
2. 新しいプロジェクトを開き MediaHub にアクセスします。
3. Browse for から「Project」を選択します。



4. Local Projects から破損した Library が含まれるプロジェクトを選択します。

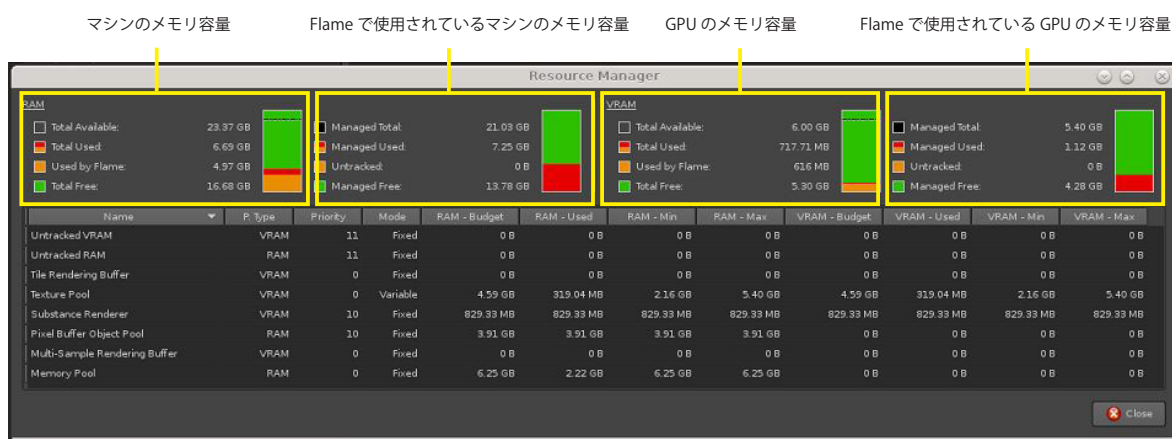
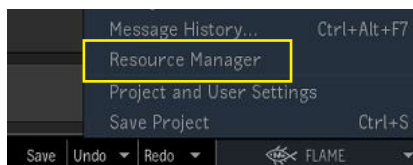


5. 破損した Library 以外の必要な素材を現在のプロジェクトにインポートします。

上記手順を行うことで破損した Library のメタデータバックアップを更新することなく運用を続けられます。Library のバックアップを戻すには弊社サポートまでご連絡ください。

## Resource Manager (v2017 以降)

Flame メニューから Resource Manager utility を使用できます。Resource Manager は Available、Used by the system、Used by the software、Free の RAM と VRAM の容量を表示します。

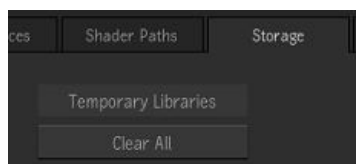


レンダリング素材にノイズが乗ったり、挙動がおかしくなった場合 Resource Manager を確認してください。各 RAM、VRAM の右側のグラフが赤くなっている場合メモリ不足による現象の可能性があります。

Batch を工夫するなどして負荷を下げる必要があります。また、現象が改善されない場合はメモリの増設なども検討する必要があるでしょう。

## Temporary Libraries (v2014 以降)

Preferences > Storage タブ > Temporary Libraries > Clear All ボタンをクリックで選択されているプロジェクトのテンポラライブラリを削除します。



**注意：**バックグラウンド処理が実行されている場合は使用しないでください。バックグラウンドタスクモニターなどでタスクを完了していることを確認してから使用してください。

テンポラライブラリはバックグラウンドタスクによって使用され、自動的にアプリケーション側で削除されます。

しかし、正しく削除されないときに、ストレージ側に残ってしまいます。これらのライブラリを削除することでスペースを確保することができます。この操作はバックグラウンド処理が走っていない限りは安全な操作です。